

研究タイトル:

## マルクス資本蓄積論と価値法則の研究



氏名: 平林 一隆 / HIRABAYASHI Kazutaka E-mail: hirabaya@ichinoseki.ac.jp

職名: 准教授 学位: 経済学修士

所属学会・協会: 経済理論学会

キーワード: マルクス(Karl Marx), 資本論, 労働価値説, 資本蓄積

技術相談

提供可能技術:

・『資本論』やマルクスの学説についての学習会、読書会などを開催できます。

研究内容: 人間を豊かにする経済発展とは何かを、考察します！

### ●研究の背景と目的

「資本主義」と呼ばれる経済制度には、その歴史的な長所と短所があり、多くの経済学者が議論してきました。マルクスの著作『資本論』を基礎に、それら議論を発展させます。

### ●研究内容

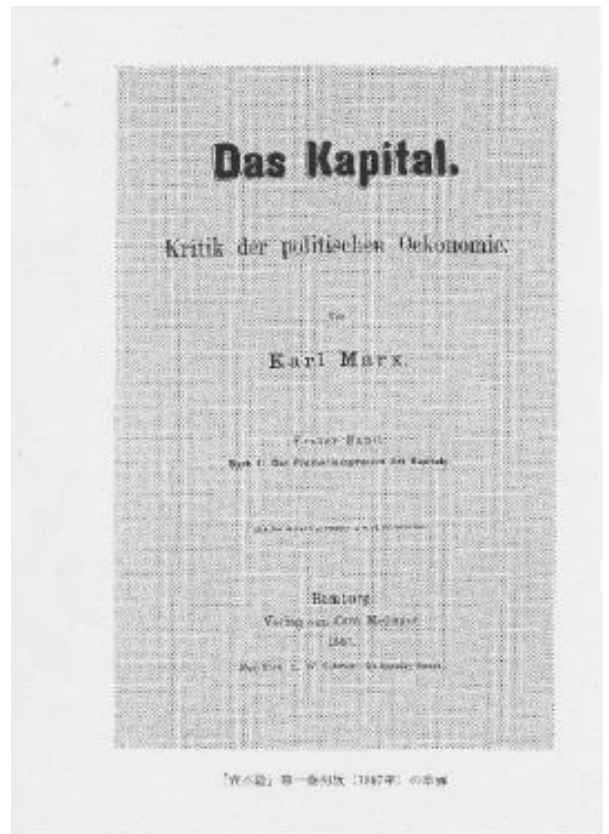
生産技術の発展・変化が、資本主義社会での経済法則を通じて、労働や経済成長にどのような影響を与えるかを考察。相対的剰余価値生産をなす労働節約的な技術の進展が、資本間の競争を通じて、諸商品の価格低下、平均利潤率の低下として現象し、価値法則として作用する理論の発展可能性を探る。

### ●研究の特徴、優位点

経済制度を多面的にとらえ、現在の経済システムを選択肢のない絶対的なものと前提せず、様々な経済制度を自由に比較し可能性を探ることに、本研究の優位点があります。

### ●今後の展開

GDP等の指標に反映される経済成長の必要性を主張する意見の一方で、それら指標では計測できない豊かさを重視する意見もあります。両者が矛盾しないような発展の方向を探ることを、今後の展開として考えています。



提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	